

「漢字の成り立ち」【国語五年 教科書三十四・三十五ページ】

めあて 漢字の成り立ちをくわしく知ろう。

学習の流れ

- ①教科書三十四・三十五ページを読む。
- ②教科書三十四ページ上段の問いを考え、教科書の□に漢字を書く。
- ③ノート例を見て、漢字の成り立ちを四年生の時のノートにまとめる。
- ④三十五ページの1・2の問題をノートに解く。
- ⑤漢字辞典や調べる端末がある人は答えが合っているか調べる。

★ チャレンジ問題 ★

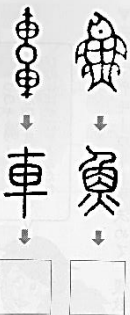
「バラバラ漢字パズル」

- ・下の点線にそって、漢字シートをはさみで切り、漢字のカードをつくる。
- ・「音を表す部分」と「意味を表す部分」を正しく組み合わせて、漢字を十二つくり、ノートに書く。

教科書三十四・三十五ページ

意味 漢字の成り立ち

次の文字は、ある漢字の昔の形です。それぞれの形をもとに今の漢字を考え、下の□に書きましょう。



漢字は、今から三千年以上も前に、中国で生まれました。最初は、物の形や様子などを絵のようにえがいて表していましたが、それがだんだん変化して、今のようになりました。また、それらの漢字を組み合わせることで、新しい漢字が次々に作られました。

漢字の成り立ちには、大きく分けて、次の四つのものがあります。

①目に見える物の形を、具体的にえがいたもの。(例) 馬・山・門・火・手

②目に見えない事から、印や記号を使って表したもの。(例) 上・下・三

③漢字の意味を組み合わせたもの。(例) 鳴・信・林

鳥と口 ↓ 鳴

④音を表す部分と、意味を表す部分を合わせたもの。



④のような組み合わせでできた漢字が、いちはたくさんあります。

①次の——線の漢字は、④に当たるものです。どの部分が音で、どの部分が意味を表し

- ・絵画コンクールで入賞する。
- ・貿易に関する国際会議が開かれた。
- ・次の——線の漢字の成り立ちを、漢字辞典を使って調べましょう。
- ・愛犬・年木・説明・清潔

正しい組み合わせじゃないと、

あまってしまうよ。

全部使って、十個の漢字をつくり、

ノートに書きだしてみましょう。

反	寺	主	青	合	才	竟	𠂔	录	𠂔
金	日	土	イ	キ	リ	ト	リ	才	馬

★ チャレンジ問題 ★

「バラバラ漢字パズル！」

「音を表す部分」と

「意味を表す部分」が、

バラバラになってしまったよ！

これらを組み合わせて漢字を完成させよう。

ノート例

「漢字の成り立ち」

めあて 漢字の成り立ちをくわしく知ろう。

◎ 漢字の成り立ちは、大きく **四つ**に分けることができます。

① 目に見える物の形を、具体的にえがいたもの。

② 例 馬・山・門・火・手

③ 例 上・下・三

④ 例 鳴・信・林

⑤ 例 草・持

⑥ 問題

・際	・絵	・板	・週	・銅	・河	音を表す部分	意味を表す部分
					可		シ

⑦ 問題

・「犬」の成り立ち…目に見える物の形を、具体的にえがいたもの。
・「末」の成り立ち…
・「明」の成り立ち…
・「清」の成り立ち…

「末」「明」「清」は、
自分で漢字の成り立ちを調べて、
書きましょう。

ノートに表を書き、
漢字を「音を表す部分」と
「意味を表す部分」に
分けてみましょう。

②～④は、教科書を見ながら、
自分でやってみましょう。